

全職員で取り組もう！すべての子どもたちに魅力ある学校生活づくりを

『中学校生活の好発進』リーフレット

学校には、経験豊富なベテランの先生もいれば、新米の先生もいます。中には、初めて担任をするという先生も…。きっと、新入生同様に不安や緊張でいっぱいかもしれません。

担任、管理職や級外の先生、SCやSSWも含めた全職員で、支援や指導等の足並みを揃え、それらの情報を共有して、4月に新入生を迎えましょう。



このような場面でお使いください

<企画委員会・職員会議>

3月中旬

企画委員会で、取組についての概要を提案し、職員会議に掛けることを周知します。

3月末

職員会議で提案し、職員全員で取組の内容を確認します。現段階でできる学年会及び教科等部会等での検討を周知します。

また、保護者への情報提供として、学校だよりの作成やHPへのアップを準備します。

4月1日

新体制・新メンバーとなった職員会議で改めて提案し、学年会及び教科部会等で検討したことを確認してもらうようにします。

<教科部会・学年会等>

3月末～

（教科）教科ごとに決めていた学習のルール等を可能な限り全教科で統一します。

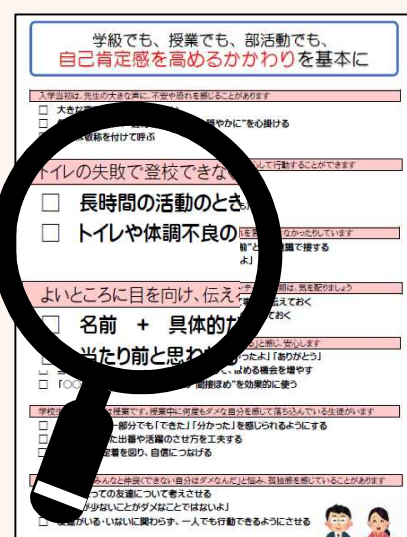
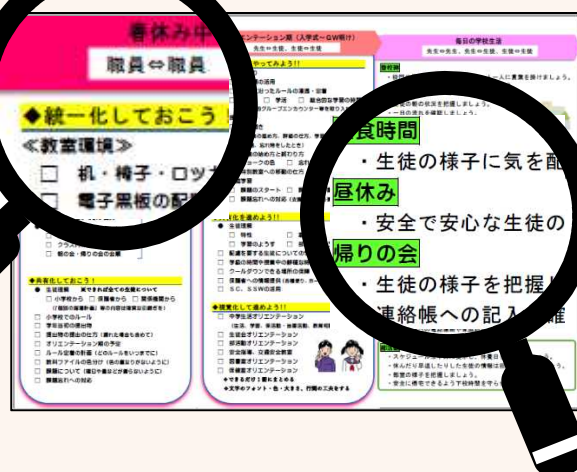
（学年）学年ごとに決めていたルールや約束事等を可能な限り全学年を通して統一します（初年度は段階的に3年計画で取り組む）。

4月に生徒と共通理解を図るためのプレゼン資料や配布資料を作成します。

<入学式・始業式>

保護者へ 取組の概要やオリエンテーション期に子供に提案予定であることを知らせ、家庭での協力をお願いします。

生徒へ 入学式・始業式当日からできる支援・指導を行う。オリエンテーションの予定を簡単に説明し、気軽に相談できることを伝えて生徒の不安を取り除きます。



学級でも、授業でも、部活動でも、 自己肯定感を高めるかかわりを基本に

入学当初は、先生の大きな声に、不安や恐れを感じる場合があります

- ☐ 大きな声で指導や指示をしない
- ☐ 個別の声掛けは、“近付いて、静かに、穏やかに”を心掛ける
- ☐ 名前は敬称を付けて呼ぶ

指示の出し方をひと工夫してもらうだけで、理解しやすくなり、安心して行動することができます

- ☐ 注意を引き付けてから指示を出す
- ☐ “一指示一行動”を心掛ける
- ☐ 視覚情報を添える（ポイントになる単語だけでも）

一度聞いただけでは、理解できなかつたり、困っていてもそれを言い出せなかつたりしています

- ☐ “入学当初は、分からない・できないのが当たり前”という意識で接する
- ☐ 「君が質問してくれたことで周りの人も助かったよ」

トイレの失敗で登校できなくなる生徒がいます。特に、オリエンテーション期は、気を配りましょう

- ☐ 長時間の活動のときは、トイレの時間を確保して事前に伝えておく
- ☐ トイレや体調不良の申し出がしやすい雰囲気づくりをしておく

よいところに目を向け、伝えと、生徒は「自分は認められている」と感じ、安心します

- ☐ 名前 + 具体的な行動 + 「先生、うれしかったよ」「ありがとう」
- ☐ 当たり前と思われる行動もほめる材料にして、ほめる機会を増やす
- ☐ 「〇〇先生がほめていたよ」などの“間接ほめ”を効果的に使う

学校生活の大部分は授業です。授業中に何度もダメな自分を感じて落ち込んでいる生徒がいます

- ☐ 授業の中で、一部分でも「できた」「分かった」を感じられるようにする
- ☐ その子に合った出番や活躍のさせ方を工夫する
- ☐ 基礎学力の定着を図り、自信につなげる

「友達がいない。みんなと仲良くできない自分はダメなんだ」と悩み、孤独感を感じている場合があります

- ☐ 自分にとっての友達について考えさせる
- ☐ 「友達が少ないことがダメなことではないよ」
- ☐ 友達がいる・いないに関わらず、一人でも行動できるようにさせる

佐賀県教育センター
平成 31 年 3 月



つくろう！目指そう “明日も行きたい” 中学校

中学校生活の好発進



新入生は未知の環境に不安がいっぱい…

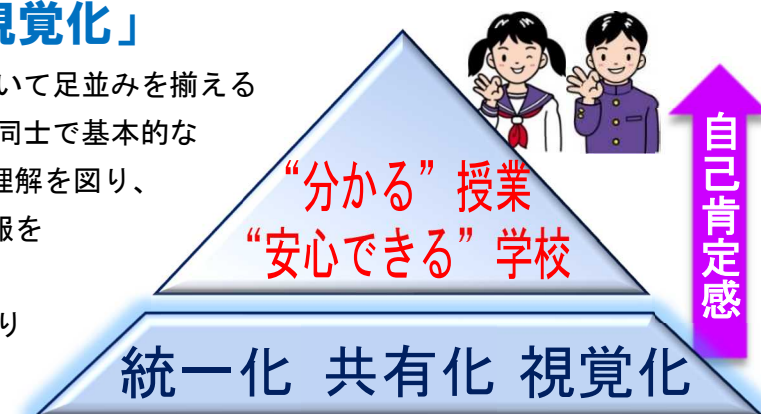


そこで、「統一化」「共有化」「視覚化」

「統一化」…基本的なルールや約束事等について足並みを揃える

「共有化」…先生同士、あるいは先生と生徒同士で基本的なルールや約束事等について共通理解を図り、保護者にもその内容について情報を提供する

「視覚化」…統一化・共有化したことを分かりやすく提示・掲示する



この3つの視点で、新入生が新しい環境に適応するための取組をしていくことが、新入生が安心して中学校生活をスタートさせるための礎となります。その中で適宜称賛し、「できた達成感」「分かる喜び」を味わわせながら新入生の自己肯定感を高めていきましょう。

春休み～

まずは、4月からの取組について職員間で統一を図ることから！

取組は、生徒が入学する前から意図的・計画的に始めます。

それぞれの段階で取り組むべきこと、取り組むことができそうなことなどをチェックし、すべての生徒の中学校生活におけるスムーズなスタートを後押ししていきましょう。

各段階での統一化・共有化・視覚化

春休み中
(3月末～入学式)

職員⇄職員
(学年で、校内で)

オリエンテーション期
(入学式～GW明け)

先生⇄生徒
生徒⇄生徒

毎日の学校生活

先生⇄先生
先生⇄生徒
生徒⇄生徒

各段階での統一化・共有化・視覚化

春休み中（3月末～入学式）

職員⇄職員（学年で、校内で）

◆統一化しておこう！

＜教室環境＞

- ☐ 机・椅子・ロッカー・靴箱の配置
- ☐ 電子黒板の配置
- 掲示物
 - ☐ 配置 ☐ 色 ☐ 形式
- ☐ 机・椅子・ロッカー・靴箱の記名やナンバリング

＜学校生活＞

- 生活
 - ☐ 生活のルール ☐ 一日の流れ
 - ☐ 服装の約束 ☐ 清掃活動
 - ☐ 昼食時間 ☐ 着替え
 - ☐ 休み時間の過ごし方
 - ☐ 登下校や自転車置き場の約束
- 学習
 - ☐ 授業のルール ☐ 授業の流れ
 - ☐ 授業・テストの受け方
 - ☐ 学校に置いてよい道具
- 係活動・当番活動
 - ☐ 生徒会や教科連絡などの係分担
 - ☐ クラス内の係活動・当番活動
 - ☐ 朝の会・帰りの会の会順

◆視覚化しておこう！

- ・掲示物
- ・プレゼン資料
- ・配付資料

◆共有化しておこう！

- 生徒理解 ※できれば全ての生徒について
 - ☐ 小学校から ☐ 保護者から ☐ 関係機関から
 （「個別の指導計画」等の内容は確実な引継ぎを）
- ☐ 小学校でのルール
- ☐ 学年当初の提出物
- ☐ 提出物の提出の仕方（遅れた場合も含めて）
- ☐ オリエンテーション期の予定
- ☐ ルール定着の計画（どのルールをいつまでに）
- ☐ 教科ファイルの色分け（色の重なりがないように）
- ☐ 課題について（曜日や量などが偏らないように）
- ☐ 課題忘れへの対応

オリエンテーション期（入学式～GW明け）

先生⇄生徒、生徒⇄生徒

◆統一化してやってみよう！！

- 学級づくり
 - ☐ 連絡帳の活用
 - ☐ 計画に沿ったルールの浸透・定着
 - ☐ 道徳 ☐ 学活 ☐ 総合的な学習の時間
（構成的グループエンカウンター等を取り入れて）
- 授業づくり
 - ☐ 授業開き
（授業の進め方、評価の仕方、学習用具、テスト、課題、忘れ物をしたとき）
 - ☐ 授業の始め方と終わり方
 - ☐ チョークの色 ☐ 忘れ物への対応
 - ☐ 特別教室への移動の仕方
- 家庭学習
 - ☐ 課題のスタート ☐ 課題の量の調整
 - ☐ 課題忘れへの対応（支援や配慮が必要になることも）

◆共有化を進めよう！！

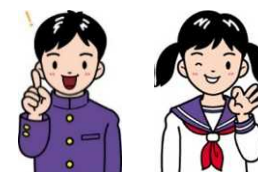
- 生徒理解
 - ☐ 特性 ☐ 家庭環境
 - ☐ 学習のようす ☐ 部活動のようす
- ☐ 配慮を要する生徒についての学年生徒への理解促進
- ☐ 学級の時間や授業中の静穏な時間の保障
- ☐ クールダウンできる場所の保障
- ☐ 保護者への情報提供（各種便り、ホームページ、家庭訪問）
- ☐ SC、SSWの活用

◆視覚化して進めよう！！

- ☐ 中学生生活オリエンテーション
（生活、学習、係活動・当番活動、教育相談）
- ☐ 生徒会オリエンテーション
- ☐ 部活動オリエンテーション
- ☐ 安全指導、交通安全教室
- ☐ 図書室オリエンテーション
- ☐ 保健室オリエンテーション

◇できるだけ1冊にまとめる

◇文字のフォント・色・大きさ、行間の工夫をする



毎日の学校生活

先生⇄先生、先生⇄生徒、生徒⇄生徒

登校時

- ・校門や昇降口、教室で出迎え、一人一人に言葉を掛けましょう。
- ・遅刻や欠席の連絡について確認しましょう。

朝の会

- ・生徒の朝の状況を把握しましょう。
- ・一日の流れを確認しましょう。
- ・提出物や課題の提出状況を把握しましょう。



授業中

- ・統一した授業のルールを徹底しましょう。
- ・「できた達成感」や「分かる喜び」を味わうことのできる授業を実践しましょう。
- ・学習道具や課題の忘れがないか確認しましょう。
- ・学習のめあてや授業の流れを視覚的に示し、1時間の授業の見通しをもたせましょう。
- ・無理なくできる課題にしましょう。

休み時間

- ・次の授業の準備や移動、トイレ休憩の時間を確保しましょう。

昼食時間

- ・生徒の様子に気を配りましょう。

昼休み

- ・安全で安心な生徒の居場所づくりをしましょう。

帰りの会

- ・生徒の様子を把握しましょう。
- ・連絡帳への記入を確認しましょう。
- ・配布物は説明を添えて配りましょう。
- ・その日の課題を全員で確認しましょう。

放課後

- ・教室や校門で見送り、一人一人に言葉を掛けましょう。
- ・教室環境を確認しましょう。
- ・欠席者等への電話連絡や家庭訪問をしましょう。

部活動

- ・スケジュールは早めに提示し、休養日を確保しましょう。
- ・休んだり早退したりした生徒の情報は担任と共有しましょう。
- ・部室の様子を把握しましょう。
- ・安全に帰宅できるよう下校時間を守らせましょう。